コミュニティ・スクール委員会の活動レポート

【あいさつ運動】

鷹南学園では、各学期に一週間ずつ「あいさつ運動週間」をもうけています。中原小の前には、中原小の代表委員や地域の方や先生方と一緒に、東台小の代表委員、五中の生徒会委員もいっしょに並び、登校する児童に、元気に声をかけています。東台小の前にも、中原小・五中の子供たちの姿があります。五中の前では、五中生が地域の方や先生方と一緒にあいさつしています。

この活動には、CS 委員や、民生委員をはじめとした地域の方が参加し、学校の前や、あるいは通学路での声かけをおこなっています。地域の人々が参加することで、先生方とは違った視点から子供の様子を見ることができ、時には学校に助言したり、情報交換をすることもあります。また、子供たちにとっても、「地域であいさつする」きっかけとなります。

ジャンプアッププランアンケートでは「ご近所、地域でのあいさつ」の重要性について多くの回答がありました。「あいさつ運動」をきっかけに、大人も子供も日常的に学校の中、外にかかわらずあいさつできる地域になるといいですね。

【鷹南コンサート】

10月12日、午前中は東台小学校で学園集会。中原小、東台小両会場で、両小学校の２年生と五中の１年生、４年生と中３生という兄弟学年にわかれての交流授業。午後からは、両小の６年生全員が五中で、五中の先生による中学校の授業を受ける「中学校プレ講座」。一連の学園の取り組みに引き続き、五中体育館にて、CS 委員会主催で第二回となる鷹南コンサートが開催されました。出演は、中原小合唱団、東台小金管バンド、五中吹奏楽部。学園生、教員、保護者、地域の方々２４０人を前に、見事な演奏を披露しました。

＜ＣＳ委員より　～運営に関わって～＞

猛暑を象徴する陽気に、発表者や聴衆の環境面ばかり気になりましたが、始まってしまえばそれも杞憂に。３校の児童・生徒達の特色ある精一杯のパフォーマンスに心を動かされ、惜しみない大きな拍手を送っていました。

緊張感の高まる中迎える本番、成し遂げた晴れやかな笑顔。日頃の努力を成果として披露する『晴れ舞台』を大人達が提供する事の意義も再認識しました。勿論準備～片付けに大いに力を発揮してくれた五中生、関わって頂いた全ての皆様へも大きな拍手を忘れずに･･･。（間壁　会場・舞台担当）

東台小・金管バンド

中原小合唱団

聴きにきてくださった
みなさん、ありがとう
ございました　♪

当日の様子は、鷹南学園ホームページでもご覧いただけます。　鷹南学園　検索

全員合唱「大きな明日へ」

五中・吹奏楽部

鷹南学園

鷹南学園　検索

コミュニティ・スクール委員会だより

平成 25 年度第２号　　発行日：平成 25 年 11 月 21 日

発行責任者：鷹南学園ｺﾐｭﾆﾃｨ･ｽｸｰﾙ委員会　会長　小田切茂美　編集：同委員会広報部

保護者の皆様、このたび「鷹南っ子ジャンプアッププラン２０１３～家庭での取り組み」アンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございます。自由記述式でしたが、多くの方が丁寧に記述していただき、集計に協力していただいた各校の PTA の方々からも鷹南学園の保護者の意識の高さと、実践されている取り組みの価値に驚きと誇りの声をいただきました。ご協力、重ねてありがとうございます。

今回のアンケートの目的は、各ご家庭での取り組みを集約して提示することにより、家庭で出来ることの基礎・基本の価値が共有されることです。実際、回答の中には他のご家庭での取り組みを学びたいとの要望が多く見受けられました。ご意見の全体の傾向が読み取れる集計や各学年ごとの集計を、１１月末までに鷹南学園のホームページに掲載する予定です。皆様のご家庭での取り組みにご参考になりましたら幸いです。

また、「鷹南っ子ジャンプアッププラン２０１３」とは何か？どんなねらいがあるのか？の問い合わせも多数いただきました。コミュニティ・スクール委員会は、学園のパートナーとして「育てたい子供の姿」をイメージして、その実現に向けて取り組んできました。「鷹南っ子ジャンプアッププラン２０１３」は、開園５年目となる２０１３年度のコミュニティ・スクール委員２１名の熟議の中から形成され、現在進行中で進化しています。

「鷹南っ子ジャンプアッププラン２０１３」は、「学園の教育方針」をベースに、分かりやすい言葉で「育てたい子供の姿」と「身に付けてほしい力」を提示し、それに対して「学校がやること」「家庭でやること」「地域でやること」を明確にしていき、全体像（フレームワーク）が見通せることで、学園が目指す教育方針を学校・保護者・地域で共有し実践することを目指しています。

１１月末に実施する学園・学校評価アンケートにより、重要度・実現度の尺度のご意見を加え、「学校・保護者・地域」をつなぐコミュニティ・スクール委員会の取り組みに反映していく予定です。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

鷹南学園コミュニティ・スクール委員会
評価部部長　南條　勉

【こんなチャレンジしています　～鷹南っ子ジャンプアッププラン回答から】

家庭学習の習慣をつけたいときは

勉強は自分からやることが大事だとおもって、あまり口を出さないように頑張っています。
朝の勉強に取り組んでいます。大人の勉強する姿も大事みたい。
子供の質問には、「一緒に調べよう」と働きかけるようにしています。

読書に親しむきっかけづくり

本を子供が手に取りやすい場所に置いておくと、何となく手が伸びているみたい。
ニュースや新聞記事を家庭で話題にしたり、一日の出来事をスピーチしたり。

育て、豊かな心

５分だけ片づけ、５分だけお手伝い…を毎日続ける。５分がポイント！
あいさつのとき、プラス１（笑顔・大きな声・目を見る）を心がける。
季節感や旬を伝えるように心がけています。
できるだけ公共交通機関を使って、マナーを学ぶ場に。

鷹南っ子ジャンプ・アップ・プラン2013

鷹南っ子ジャンプアッププランの狙い

保護者、地域自らが「考える」「実践する」流れづくり

HOP 学校、子供、保護者、地域。それぞれが、自分のやっていること、できることを口に出してみる

CS委員会では

学校、子供、保護者、地域。ジャンプアッププランアンケートで、みんなの声を聞いてみる。

STEP 自分のやっていることと、みんながやっていることが見えてくる。

聞こえてこない声、もっと聞きたいことを洗い出して、学園評価アンケートで確かめる

JUMP これは、と思うものは家庭や仲間と話し合ってみる。試してみる。

目指す「鷹南っ子」の育成に向けて、それぞれができることを提案し、実践する。

学校、家庭、地域が、それぞれの立場で、
それぞれの得意を生かしながら子どもたちを支える

お互いの良さをつなぎ合って、新しい支えの形を生み出す

目指す姿	子供たちに身につけてほしい力	学校が行うこと	家庭でやっていること、やってみたいこと	地域でやっていること、できること
自ら学び、考え、発表できる子	自分から勉強する力(ﾘｮｸ)（計画的な学習）	問題解決学習型授業に取り組み、継続して学び方や考え方、表現力の育成を図る		
	自分に合った学習方法			
	自分の考えをもち、自分のことばで話したり、人の話を聞いたりする力(ﾘｮｸ)			
勉強する習慣が身についた子	家庭学習の習慣	朝学習、朝読書、放課後学習の定着化を図る（鷹南スタンダードの確立）家庭学習の習慣化を呼びかける		
	読書に親しむ習慣			
：	：			
：	：			

たとえば、学校・学園は学習習慣の定着のため小・中ひとつになって**鷹南スタンダードの確立**に取り組みはじめました。

いろんなアイディア、いろんな取り組み、いろんな悩みが寄せられました。たとえば・・・

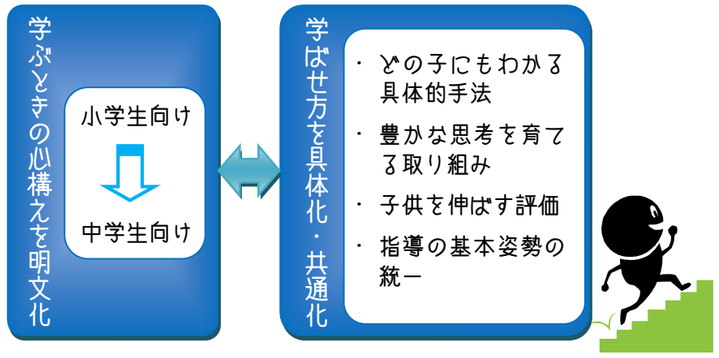
- 子供自身が計画を立てて、ホワイトボードに書き込んでいます。
- **親子で別の本を読んで、お勧めしあっています。**
- 料理をしてもらっています。家のトイレの掃除当番も。
- 親が率先して、近所の人にあいさつしています。
- 早寝早起き朝ご飯、心がけてはいるけれど・・・。

「そんなこと無理」「どうしたらいいかわからない」のつぶやきも大事な気付き。

うちでも、工夫してみようかな？

自分にもできることはあるかしら？

鷹南スタンダードとは？　～「学び方」「学ばせ方」の具体的な取り組み～

鷹南学園では、授業に臨む心構えや行動について、子供を主体とした「学び方」と、先生を主体とした「学ばせ方」の 2 つの視点から具体的な行動の目安を掲げました。3つの学校で**共通の基準（スタンダード）**をもち、小・中を通じた学びの体制を整え、学園生の学力向上を目指す取り組みです。

「子供にわかりやすい授業の作り方」を工夫しよう、という先生方の声が形になりました。